

2026年〔制作・発行〕

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当
TEL.048-556-1111(内線 338・278)
- 行田市在宅医療・介護連携支援センター
TEL.048-553-2003

行田人

ぎょうだびと

第25号誌

管理栄養士による
訪問栄養指導について

食事でお困りではありませんか？

食欲がなく
食べる量が減ってきた

やせてきた

食事中に
ムせることがある

退院後の食事に
不安がある

「訪問栄養指導」で、 あなたの食卓をサポートします！

自宅などで療養生活を送られていて、通院が困難な患者様を対象に、管理栄養士がご自宅に訪問して食事の面からサポートさせていただきます。住み慣れた環境で生活しながら、食事に対する不安や問題を解決し、安心して過ごしていただくことを目的としています。



サービス利用のご案内

利用できる方

- 通院がむずかしい方
- 自宅で療養されている方
- 食事や栄養に不安がある方

こんな支援をおこないます

- 食べやすい食事の工夫（やわらかさ・形態の調整）
- 病気（糖尿病・腎臓病等）にあわせた食事の提案
- 低栄養予防・体重減少への対応
- 栄養補助食品の使い方のアドバイス

訪問栄養指導料と交通費をお支払いいただいています。

【訪問栄養指導料】

①介護保険で指導を行った場合

1割負担:545円 2割負担:1,090円 3割負担:1,635円

②医療保険で指導を行った場合

1割負担:530円 2割負担:1,060円 3割負担:1,590円

【交通費】 行田市内:275円(税込) 市外:550円(税込)

利用方法

- 訪問栄養指導は、医師の指示に基づきご利用いただけます。
- まずは、かかりつけ医または担当ケアマネジャーへご相談ください。



医療介護連携事例紹介コーナー



介護老人保健施設グリーンピアでの事例

退院後の自立支援に向けて…

事例

仮の症例です。

80代 Aさん 女性。

心不全で入院し、車椅子の状態での退院。家族は同居しているが、自宅の住まいが二階のため、戻れずに老健（介護老人保健施設）に入所する。認知症なし。入院前は問題無く生活できていた。

対応

①将来自宅で生活できるように老健への入所を勧める。

*老健とは…「老健＝介護老人保健施設」は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが、夜間でも安心できる体制を整えています。

②自宅内の動線も確保し自宅環境を整えた。

③日中は家族がいないため、通所サービス、配食サービスを利用し家族の介護力不足を補う。



効果

老健でリハビリすることで、階段昇降ができるようになる。

現在は歩行器使用にて、問題無く自宅での生活を継続できている。

ポイント

退院後の生活は「家の構造」と「家族の支援力」で大きく変わることがあります。

老健を「自宅復帰のためのリハビリの場」として活用し、通所や配食などのサービスを組み合わせることで、在宅生活を支えられることができた事例です。

（フラット 高田、普及啓発 新井）

